

農地中間管理事業の動き新着情報

○第1回農地中間管理事業評価委員会を開催しました。

(平成26年12月18日 埼玉県種苗センター)

農地中間管理事業の実施状況の評価などを行う評価委員会を開催しました。

当日は4人の委員全員の参加があり、制度の仕組みや事業の進捗状況などを説明したのち農地中間管理事業に期待することと題して意見交換をしました。

本格的な貸し借りはこれからとなることから、実質的な評価は平成27年3月に予定する2回目からの予定です。



主な意見はこちら

- 農地を守っていくためには重要な事業である。これからは、農地の集積・集約化によって生産コストを下げていくようにしていかなければならない。
- 借り手側の採算を考えることが必要である。コスト削減、販路の確保などの支援も含めて、将来的に経営が成り立つかどうか機構の役割を超えたところが非常に重要である。
- 日本の米は、海外でも十分販売することができる。日本の培ってきた水田の技術はそうそう真似することはできない。海外の富裕層を対象に、埼玉県でも定期的に輸出できるようにすることが必要である。
- 市町村や農協にはまだこの事業が浸透していない。農家が相談する際の窓口は市町村や農協になるので、指導を徹底して欲しい。
- 機構としての収支構造、農地の貸借に係る個々の案件の収入・支出を明らかにしてもらいたい。

農地中間管理事業評価委員会委員

平成 26 年 12 月 18 日現在

区分	氏名	備考
大規模農家	船川由孝	幸手市 大規模農家
農業参入企業	福永庸明	イオンアグリ創造(株) 代表取締役社長
女性生産者	小林町子	鴻巣市 小林ファーム共同経営者
学識経験者 (財務関係)	佐野勝正	佐野公認会計士事務所 公認会計士

委員の互選により
に会長に選出